

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

日々、清掃を実施しており、清潔な環境の維持を心がけている。

B：児童への支援内容

児童の特性に合わせて、サービスを提供できるように工夫している。サービス中の役割・担当をスタッフ間で確認している。

C：関係機関との連携

定期的に相談員と関係者会議等を実施。必要に応じて連携をしている。

D：保護者への説明責任・信頼関係

適切に果たしている。
新型コロナウイルスの影響により、制限のある中、工夫をしながら保護者の相談等対応を実施した。

E：非常対応

定期的に避難訓練を実施。
緊急時対応のスキルアップに努めている。

保護者による評価

A：環境面

十分なスペースが確保（85%以上の回答）

B：児童への支援内容

90%以上が支援内容に満足との回答。
送迎があると良いと感じるが、毎回親の送迎のおかげで、職員との対話が増える。送迎時に子供の様子が直接みる事ができる。

※コロナが落ち着いたら、調理系のプログラムや、おでかけプログラムをして欲しいとの意見あり。

C：事業所からの情報発信

概ね満足の声が多い。
ホームページで活動の様子を発信している。

D：非常対応

適切に実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 施設の環境面の満足度。
- ② 児童への支援内容への取り組み（事業所）に対して、客観的な評価（保護者）が高い。
- ③ 新型コロナウイルスの影響もある中、サービスの工夫をしている。

【相違点】

保護者会に興味あり。（保護者からの意見）

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・利用児が毎回の活動を楽しみに通所している。
- ・職員の離職率が低い為、利用児にとって安定した人的環境を提供する事が出来ている。
- ・送迎がない為、毎回同じメンバーで同じ活動を継続する事が出来る。

事業所の改善点

- ・ブログ等を活用し、事業所での活動の様子が発信していきたい。
- ・コロナの感染状況に応じたプログラム運用をしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・新型コロナの感染拡大の収束が見通せる時期になったら、定期的な保護者会・講習会の開催を企画していきたいと思う。
- ・新型コロナの感染状況に応じて、フレキシブルにプログラムの内容を検討していく。
(但し、人によってリスクへの考え方が違うので、安全面を第一優先とする。)

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所による自己評価と保護者による事業所評価の比較をする事で、普段運営をしている事業所には見えない課題が浮き彫りになった。

こういう機会に客観的な視点で、事業所の成長・改善につなげる事ができると感じている。

今後も、利用児・保護者の最善の利益を追求したサービス提供をするために、役立てていきたい。

事業所名：発達応援団ピュアキッズいずみ2号